

## 会 議 録

名 称	平成 24 年度 第 6 回富士見市立図書館協議会
開催日時	平成 25 年 3 月 16 日 (土) 午前 10 時 00 分 ~ 12 時 00 分
開催場所	中央図書館 レセプション室
出席者	<p style="text-align: center;">図書館協議会委員</p> <p>岩本喜直委員 上松恵美子委員 大澤茂和委員 内田弘委員          小林恵子委員 高居正博委員 中沢佳珠代委員 野村富雄委員</p> <p style="text-align: center;">教育委員会生涯学習課</p> <p>金田課長 林図書館担当 古川図書館担当</p> <p style="text-align: center;">事務局</p> <p>宮澤中央図書館長 本間副館長 岩崎ふじみ野分館長          長谷川鶴瀬西分館長</p>
欠席者	高橋さかえ委員 矢沢靖子委員
公開・非公開	公開 (傍聴人なし)
次 第	<p>委員長挨拶</p> <p>報告連絡事項</p> <p>図書館主催事業について</p> <p>協議事項</p> <p>「第 2 次富士見市子ども読書活動推進計画」について</p> <p>「図書館サービス計画」について</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 2 次富士見市子ども読書活動推進計画 (案)</li> <li>・ 富士見市立図書館各館の開催事業報告 (1 月 ~ 2 月)</li> <li>・ 各館の広報誌             <ul style="list-style-type: none"> <li>さざなみだより 2 月 3 月号</li> <li>とびらしんばん 2 月 3 月号</li> <li>BOOK ADVENNTURES 172 号 173 号</li> <li>にこにこひろば 2 月 3 月号</li> <li>つるせにしんばん 47 号 48 号</li> </ul> </li> </ul>

議 事 内 容

報告連絡事項

図書館主催事業について

1月から2月の間で実施した開催事業について図書館から報告を行なった。  
25年度予定の案件について

市より電気供給事業者の変更及び施設修繕工事等の説明

協議事項

「第2次富士見市子ども読書活動推進計画」について、今までの意見を盛り込んで作成した計画の最終案に対し、改めて委員から意見を求めた。

市：前回より、「子ども司書講座」を追加し、現在実施している「1日子ども図書館員」をベースに講義的内容もふくめて取り組む。三郷市を視察した結果を参考にする。

委員：審議はされているが、意見はあるか。

委員：中学生になったら、社会人へ一歩近づくこととして新聞を読むことを奨励したほうが良い。

市：小、中学生向けの新聞は備えているが、読まれていないのが今後の課題である。

委員：学校では、4年生で新聞について勉強している。新聞店と連携し、新聞にまず触れるところから始めている。疑問に思ったら過去の記事を調べるということに慣れるように指導しているが、なかなか活用はされていない。

委員：1日図書館員に参加できないところもある。図書館の案内ビデオを作成し、各学校へ配布して図書館へ来るきっかけとできないか。

委員：予算の関係で難しい点もある。

委員：子どもたちが中心となって、ビデオを作成できると良い。

委員：調べる学習に繋がる意味で、図書館に通って知識を増やし、ノーベル賞を取ろう、など大きな夢へのきっかけとなる。

委員：図書館ツアーはどのように実施されているのか。

図書館：多いときで5~6名、家族連れも多い。開架に加え書庫など普段目に出来ないものも紹介している。

市：1日図書館員もやっているが夏季のみとしている。

委員：図書館と学校と連携できないか。

委員：図書館が連携可能となっても、学校が不可能という場合がある。中学校では過去に上手くいかなかった例もあるが、例えば実験的に、鶴瀬西分館とつるせ台小学校で試し、どんな連携をとることが出来るか確認した上で拡げていく事も考えられる。千葉の市原市のような成功事例もある。

委員：YAの利用が低下している。中高生の来館を促進するような環境を整えると良いのでは。

委員：年輩のボランティアを活用できないか。現状は男性はいるのか。

委員：女性が大半で、過去にはいたが今はいない。

市：修理ボランティアに1～2名男性がいる。

委員：今までの例だと、男性には細かい作業は長続きしない傾向にある。

市：男性に興味がない内容だと、なかなかボランティアとしての参加は難しい。例えば、パソコンでプログラミングをする、映像DVDを作成するなど魅力的なプログラムであれば、参加するのでは。

委員：保護者に向けての働きかけも重要だ。子どもの参加は減少しているが、大人向けのおはなし会は盛況である。ボランティア活動も重要だが、子ども司書への取り組みは、図書館と学校の橋渡しになると思うので、今後の取り組みをどうするかを更に盛り込んだほうが良いと思う。

市：「子ども司書」登録以後の活動については、今後の課題として検討する。

委員：「子ども司書」登録者はたくさんいたほうが良いのでは。

市：当初は、少数にして深く経験してもらい、充実したものにしたい。地味な活動であるが長続きさせたい。

委員：「子ども司書講座」はどの位の回数を考えているのか。

市：三郷では10回ほど講義を行っているが、最初の段階では講義の回数を絞って、少なくして実施していきたい。

市：YAコーナーは作っているが、なかなか利用してもらえていない。YAと図書館とで意見交換をして、その意見を取り込むようにしたほうがよい。

委員：ホームページは写真が少ないと思う。YAに興味をわくようなものがほしい。地味であるが、ビジュアルなもので作成してほしい。それから、YAコーナーにBGMなどを流して雰囲気作りをするのもよいのでは。

市：以前公民館で実施したが、人によって感じ方が違うので、様々な意見が出て半年で断念した。

図書館：他の図書館でBGMを流していたことがあり、子どもには効果があった、という例もある。

市：3年前に、喫茶と入口にBGMを流していたこともある。震災の節電を契機に今はやめているようであるが、もう一度実施を考えてもよいのではないかと。

委員：YAコーナーが目立つようなPRを入口付近にも設置することが必要。

委員：YAに来てもらうには学習室が必要ではないか。学習室を充実してもらいたい。

市：学習室は別の機会で議論させていただきたい。

委員：駅に図書館コーナーを作って、パンフレットを置いてほしい。駅を活用してほしい。

「図書館サービス計画」について資料を基に、今後の計画と図書館の現状についての報告をし意見を求めた。

市：25年5月の図書館協議会で方向性を決めていき、教育委員会、政策会議で検討していく。

委員：子ども読書活動推進計画はどこが主管か。

市：生涯学習課が主管で立案し、他部署と協力して作成している。

委員：推進状況、進捗把握はどこがやるのか。

市：子ども読書活動推進委員会を設置して管理していく。教育委員会、図書館、学校との連絡会議にて事務レベルでの検証を行って行く。

委員：それでは、本日の図書館協議会では、第2次富士見市子ども読書活動推進計画（案）については承認ということによいか。

市：よろしければ、この後は来週からのパブリックコメントにて意見を伺う。

委員：ではこの会では承認とさせていただく。図書館サービス計画についてはこれから議論してゆくので、来年3月までに完成させていくことになる。

市：子ども読書活動推進計画は法律に基いて作成しているが、図書館サービス計画はそれには該当しない。基本的には図書館協議会と協力して作成していくものと考えている。また市民懇談会などで広く意見をいただきながら策定していきたいと考えているので、よろしく願いしたい。

委員：以上で閉会とする。

次回開催日

5月18日（土）10:00から